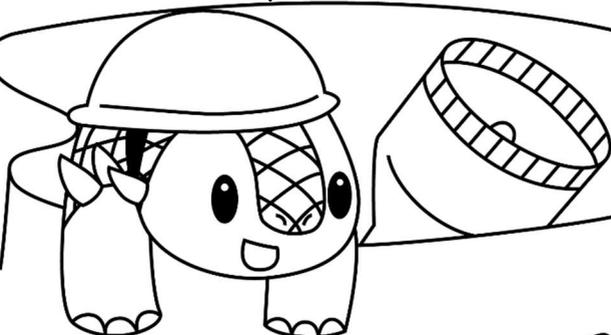


かぞく かんが ぼうさい  
**家族で考える防災**

キューアンドエー

**Q&A**



**非常袋**



なまえ

# もくじ

ぼうさい なんてん

Q-1：うちの防災は何点かな？ .....	2
へや なか	
Q-2：部屋の中でグラツときたら？ .....	3
そと	
Q-3：外でグラツときたら？ .....	4
Q-4：あるといいものなんだろう？ .....	5
きんじょ し	
Q-5：近所を知ってる？ .....	6
れんらく と	
Q-6：連絡ってどうやって取るの？ .....	8
さいがいじようはいりよしゃ	
Q-7：災害時要配慮者って？ .....	9
Q-8：ジシンカミナリカジ〇〇〇？ .....	11
ぶじ かえ	
Q-9：無事に帰るためには？ .....	13
つか	
Q-10：トイレが使えないとき、どうする？ .....	14
かぞく はな	
家族で話してみよう！ .....	15
ていでん の	
停電を乗りきるためには？ .....	16
ぼうさい	
防災ゲームをしてみよう .....	17
ぼうさいたいけん しせつ しゅとけん	
防災体験ができる施設（首都圏） .....	18



# Q-1 : うちの防災は何点かな？

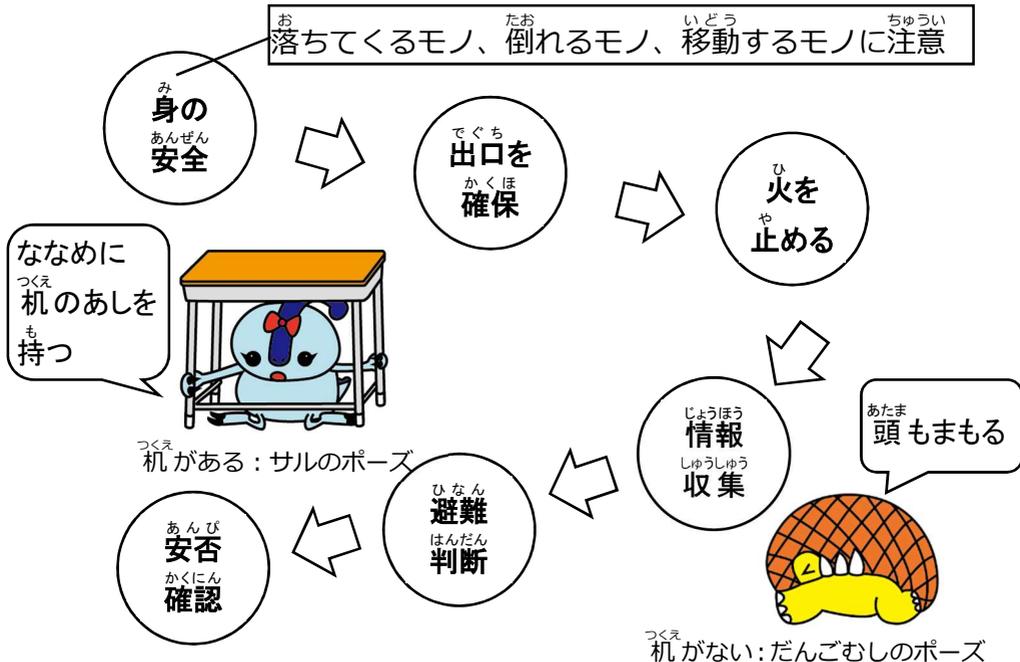
A-1 : 1項目10点で採点してみよう

家族と電話がつながらないときの連絡方法を決めている	
ハザードマップを用意した	
避難場所と安全な行き方を確認した	
自分の避難バッグを持って避難所や避難場所まで行って みた	
記入した防災カードを持っている	
家具の転倒防止をしている	
食料・水・トイレの備蓄をしている	
近所を歩いて防災マップを作った	
防災訓練に参加した	
防災クイズ・ゲームにチャレンジした	
合計	

100点満点を目指そう！

## Q-2 : 部屋の中でグラツときたら？

A-2 : 慌てない！取るべき行動と順番を覚えておこう



### ＜部屋あんげんどの安全度あんげんどチェック！＞

- 玄関周げんかんしゅうへん辺へや部屋へやの出入り口でいぐちに倒れたおそうなものおを置おかない
- 頭あたまの上うえに落ちてきおそうなものおを置おかない
- 背せの高い家具たかや家電機器かくだんききは倒れるたおるので固定こていする
- 懐中電灯かいちゅうでんとうは各部屋かくへやに置おく
- 消火器しょうかきの場所ばしょを確認かくにん
- 持ち出もしバグだやドアノブちくこうなどに、蓄光シートはを貼はる

# そと Q-3 : 外でグラツときたら？

## A-3 : それぞれの安全行動を知っておこう

- つくえ、テーブルの下  
はい、あんぜん、かくほ  
に入っテ安全を確保  
する

がっこう  
学校

- ひじょうぐち、かくにん  
かいだん、に  
・非常口を確認  
・階段から逃げる
- エレベーターは使わ  
ない

ビル

- ぜんぶ、かい  
お、さいしょ、ていし  
・全部の階のボタンを  
押しテ、最初に停止  
した階で降りる

エレベーター

- しょうひんたな、はな  
・商品棚から離れる
- ひじょうぐち、かくにん  
・非常口を確認する
- らっかぶつ、ちゅうい、あたま  
・落下物に注意、頭  
をかバンなどで守る

みせ  
お店

- じどうはんばいき、プロツ  
ク、べい、ビルのかべ  
・自動販売機、ブロッ  
ク塀、ビルの壁ぎわ  
から離れる
- あたま  
・頭をかバンなどで  
守る
- らっかぶつ、ちゅうい  
・落下物に注意

まちなか  
街中

- ていでん、ひじょう  
・停電になっても非常  
しょうめい、お  
照明がつくので落  
ちついて待つ
- ひじょうぐち  
・非常口サインがどこ  
にあるか確認する

ちか  
地下

- きゅうていしゃ、そな  
・急停車に備えて、  
つり革、手すりにつ  
かまる

でんしゃ  
電車バス

- どうろ、ひだりがわ、あきち  
・道路の左側や空地  
に停める
- キーを付けたまま、  
ロックせず逃げる

車

- つなみけいほう、で  
・津波警報が出ていな  
いか注意する
- かわ、ひく、ほう  
・川や低い方には行か  
ない
- うみ、はな、たか  
・海から離れ、高い  
ところ、めざ  
所を指す

海

## Q-4 : あるといいものなんだろう？

A-4 : 表を参考に持ち出しマイリストを作ろう

リスト	1次	2次	リスト	1次	2次
<食物(たべもの)>			<貴重品(きちょうひん)>		
飲料水(いんりょうすい)			現金(げんきん)、小銭(こぜに)		
食料(しょくりょう)			保険証(ほけんしょう)		
紙皿(かみざら)、かみコップ			通帳(つうちょう)		
簡易(かんい)ガスコンロ			<便利品(べんりひん)>		
食品用(しょくひんよう)ラップ			懐中電灯(かいちゅうでんとう)		
アルミホイル			と電池(でんち)		
<情報(じょうほう)>			筆記用具(ひっきようぐ)		
携帯(けいたい)ラジオ			軍手(ぐんて)		
携帯充電器(けいたいじゆうでんき)			ヘルメット		
ハザードマップ			ガムテープ		
家族(かぞく)の写真(しゃしん)			新聞紙(しんぶんし)		
<衛生(えいせい)>			給水袋(きゅうすいぶくろ)		
簡易(かんい)トイレ			レジャーシート		
マスク			多機能(たきのう)ナイフ		
きがえ			予備(よび)の眼鏡(めがね)		
マウスウォッシュ			マッチ、ライター		
ティッシュ			防犯(ぼうはん)ブザー、ふえ		
ウェットティッシュ			つかいすてカイロ		
タオル			防寒具(ぼうかんぐ)、毛布(もうふ)		
ポリぶくろ、レジぶくろ			雨具(あまぐ)		
			風呂敷(ふるしき)		

- 持ち出しバッグはすぐに持ち出す1次バッグと、避難後に自宅に戻り改めて持ち出す2次バッグで中身を考えておく。
- バッグは1人1つ、背負って両手が自由になるタイプにする。
- 停電で銀行やATMが使えないことを想定し、現金を用意する。
- 避難所は原則土足禁止なので、上履きを用意する。

## Q-5 : 近所を知ってる？

### A-5 : 家族や友達と防災マップを作っておこう

#### <災害時の避難場所>

・避難場所（緊急的に避難する場所）：

広域避難場所、一時避難場所、津波避難ビル、水害時避難ビル

・避難所（住民が滞在する場所）：

地域防災拠点となり、支援物資が集まる

#### <危険な場所・もの>

・落下しそうな看板やはがれ落ちそうな壁のタイル

・ブロック塀や崩れそうな崖

・地震時にガラスが割れたら落ちてきそうなビル

・引火しやすいものが置いてある場所

#### <ハザードマップで確認>

浸水	ある ・ ない	深さ	m
津波	ある ・ ない	深さ 到達時間	m 分
液状化	ある ・ ない		
木造密集市街地	ある ・ ない		
土砂災害警戒区域	ある ・ ない		
土砂災害特別警戒区域	ある ・ ない		
災害用井戸	ある ・ ない		

やく  
〈役にたつもの〉

写真は何かな？線で見ないでみよう。近所のどこにあるかも探しておこう。



こうしゅうでんわ  
● 公衆電話



さいがいあんないず  
● 災害案内図



さいがいたいおうじはんき  
● 災害対応自販機



ひなんぼしよ  
● 避難場所



びちくそうこ  
● 備蓄倉庫



しょうかせん  
● 消火栓



エーイーディ  
● A E D

じどうたいがいしきじよさいどうき  
(自動体外式除細動機)

## Q-6 : 連絡<sup>れんらく</sup>ってどうやって取る<sup>と</sup>の？

A-6 : いくつかの方法<sup>ほうほう</sup>を覚えて、順番<sup>おぼ じゅんばん</sup>を決めておこう

災害<sup>さいがい</sup>後は被災<sup>ひさい</sup>地内<sup>ちない</sup>同士<sup>どうし</sup>、被災<sup>ひさい</sup>地外<sup>ちがい</sup>からの電話<sup>でんわ</sup>がつながりにくくなるので、いくつかの連絡<sup>れんらく</sup>方法を決めておく。

<災害用伝言<sup>さいがいようでんごん</sup>サービスの種類<sup>しゅるい</sup>>

大規模<sup>だいきぼ</sup>災害<sup>さいがい</sup>発生<sup>はっせい</sup>時には通信<sup>つうしん</sup>会社<sup>がいしゃ</sup>の災害用伝言<sup>さいがいようでんごん</sup>サービスが使えるようになります。

電話<sup>でんわ</sup>番号<sup>ばんごう</sup>を登録<sup>どうろく</sup>して、安否<sup>あんび</sup>連絡<sup>れんらく</sup>ができるので、事前<sup>じぜん</sup>に体験<sup>たいけん</sup>利用<sup>りよう</sup>で使<sup>つか</sup>い方を覚えておくことが大事<sup>だいじ</sup>です。

体験<sup>たいけん</sup>利用<sup>りよう</sup>日<sup>び</sup>: 毎月<sup>まいつき</sup>1日<sup>いちにち</sup>と15日<sup>じゅうごふ</sup>、正月<sup>しょうがつ</sup>三<sup>さん</sup>が日<sup>にち</sup>、防災<sup>ぼうさい</sup>週間<sup>しゅうかん</sup> (8/30~9/5)

防災<sup>ぼうさい</sup>とボランティア<sup>しゅうかん</sup>週間<sup>しゅうかん</sup> (1/15~1/21)

災害用伝言 <sup>さいがいようでんごん</sup> ダイヤル 「171」	電話 <sup>でんわ</sup> 、携帯 <sup>けいたい</sup>	登録 <sup>どうろく</sup> 件数 <sup>けんすう</sup> 20件 <sup>けん</sup> 録音 <sup>ろくおん</sup> 時間 <sup>じかん</sup> 30秒 <sup>びょう</sup> /件 <sup>けん</sup>
災害用伝言 <sup>さいがいようでんごん</sup> 版 <sup>ばん</sup>	通信 <sup>つうしん</sup> 会社 <sup>がいしゃ</sup> の公式 <sup>こうしき</sup> メニュー	登録 <sup>どうろく</sup> 件数 <sup>けんすう</sup> 10件 <sup>けん</sup> 登録 <sup>どうろく</sup> 文字 <sup>もじ</sup> 数 <sup>すう</sup> 100字 <sup>じ</sup> /件 <sup>けん</sup>
災害用伝言 <sup>さいがいようでんごん</sup> 板 <sup>ばん</sup> ウェブ 「WEB171」	インターネット 携帯 <sup>けいたい</sup>	登録 <sup>どうろく</sup> 件数 <sup>けんすう</sup> 20件 <sup>けん</sup> 登録 <sup>どうろく</sup> 文字 <sup>もじ</sup> 数 <sup>すう</sup> 100字 <sup>じ</sup> /件 <sup>けん</sup>

<三角<sup>さんかく</sup>連絡<sup>れんらく</sup>法<sup>ぽう</sup>>

遠<sup>とほ</sup>くに住<sup>す</sup>んでいる親<sup>しん</sup>せきや知<sup>し</sup>りあいに連絡<sup>れんらく</sup>をして安否<sup>あんび</sup>確認<sup>かくにん</sup>や情<sup>じょう</sup>報<sup>ほう</sup>収<sup>しゅう</sup>集<sup>しゅう</sup>ができるようにしておく。事前<sup>じぜん</sup>に誰<sup>だれ</sup>に連絡<sup>れんらく</sup>するかを覚えておく。

安否<sup>あんび</sup>確認<sup>かくにん</sup>の順番<sup>じゅんばん</sup>と方法<sup>ほうほう</sup>

優先 <sup>ゆうせん</sup> 順位 <sup>じゆんい</sup>	連絡 <sup>れんらく</sup> 方法 <sup>ほうほう</sup>	電話 <sup>でんわ</sup> 番号 <sup>ばんごう</sup>
1番 <sup>ばん</sup>		
2番 <sup>ばん</sup>		

# Q-7 : 災害時要配慮者って？

A-7: 災害時要配慮者とは一般的には高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、日本語が不自由な外国人です。

さいがいじ いっぱんひなんじよ ひなんせいかつ ごんなん ようはいりよしゃ あんしん ひなん  
 災害時に一般避難所での避難生活が困難な要配慮者が安心して避難で  
 けるよう開設されるのが福祉避難所です。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子を動かすときには「押しますよ」など、一声かける。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右図は耳マークで、聴覚障害をあらわしています。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すときは口を大きく開けて、ゆっくり話す。</li> <li>・聴覚障害のある人には筆談や地図を利用したり、身振りで伝える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害がある人が道路を歩くときは白杖を使います。杖を持つ手と反対側に立つ。</li> <li>・話すときは「ここ」などあいまいな言葉を使わず、「右・後ろ」など具体的に話すようにする。</li> <li>・右図は白杖 SOS シグナルです。白杖をまっすぐあげたときは特に助けてほしいときです。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害や自閉症など、言葉で意思疎通が難しい場合があります。絵や図、メモなどでやり取りをする。コミュニケーションボードを参考にしよう。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦さんは、おなかで足元が見えず、小さな段差に気付かないことがあります。一緒にいる人が気を付けてあげる。</li> <li>・右図はマタニティマークです。妊婦さんをあらわします。</li> </ul>	
---	--	--



- ・歩くことができる幼児と一緒にの場合、迷子に備えて、名札を付けておく。
- ・手をしっかりつないで逃げる。



- ・事前に一人では避難できないお年寄り情報を、町内会や近所の人と共有して、災害時には一緒に避難する体制を検討しておく。
- ・持ち出しバッグには、常備薬、おかゆ、スプーン、ストロークップ、おくすり手帳も準備しておく。
- ・歩けないお年寄りを運ぶには、タンカでは通常4人以上が必要です。折り畳み式のリヤカーが便利です。特に高層階に住んでいる場合、事前に人員と機材を検討しておく。

○観光で日本に来た外国人は、日本語が分からない、地震の経験のない人がいます。身振りや英語などで説明しよう。



エヴァキューエーション エリアズ  
Evacuation Areas  
(避難場所)

テレンシャル レイン  
Torrential rain  
(豪雨)

シェルター ひなんじょ  
Shelter(避難所)

アースクエイク  
Earthquake  
(地震)

イツ デインチャラアス  
It's dangerous!  
(危険です)

プリーズ イヴァキューエイトゥ  
Please evacuate  
(避難して下さい)

## Q-8 : ジシンカミナリカジ〇〇〇 ?

A-8 : 昔<sup>むかし</sup>はオヤジが怖<sup>こわ</sup>かった。地震<sup>じしん</sup>以外<sup>いがい</sup>にも、雷<sup>かみなり</sup>や竜巻<sup>たつまき</sup>、  
豪雨<sup>ごうう</sup>も危<sup>あぶ</sup>ないぞ



### 雷 (かみなり)

- 雷<sup>かみなり</sup>のときは木<sup>き</sup>・電柱<sup>でんちゅう</sup>から離<sup>はな</sup>れて、建物<sup>たてもの</sup>・自動車<sup>じどうしゃ</sup>の中<sup>なか</sup>へ逃<sup>に</sup>げる。
- 姿勢<sup>しせい</sup>を低<sup>ひく</sup>くして逃<sup>に</sup>げる。
- 雷雨<sup>らいう</sup>の中<sup>なか</sup>で傘<sup>かさ</sup>をさすのは危<sup>きけん</sup>険。
- 電流<sup>でんりゅう</sup>は表面<sup>ひょうめん</sup>を流<sup>なが</sup>れるので、建物<sup>たてもの</sup>の軒先<sup>のきさき</sup>で雨宿り<sup>あまやど</sup>は危<sup>きけん</sup>険。
- 金属<sup>きんぞく</sup>やカーボンファイバー (テニスラケット、釣り竿<sup>つりざお</sup>) に雷<sup>かみなり</sup>は落<sup>お</sup>ちやすいので、体<sup>からだ</sup>から離<sup>はな</sup>して逃<sup>に</sup>げる。
- 屋内<sup>おくない</sup>では電話<sup>でんわ</sup>や電気器具<sup>でんききぐ</sup>、水道蛇口<sup>すいどうじゃくち</sup>、壁<sup>かべ</sup>、天井<sup>てんじょう</sup>から1 m以上<sup>いじょうはな</sup>離<sup>はな</sup>れる。  
(感電防止)
- 電柱<sup>でんちゅう</sup>・鉄塔<sup>てつとう</sup>・煙突<sup>えんとつ</sup>からは4 m以上<sup>いじょうはな</sup>離<sup>はな</sup>れる。
- 木の幹<sup>き</sup>・枝<sup>みき</sup>・葉<sup>えだ</sup>から4 m以上<sup>いじょうはな</sup>離<sup>はな</sup>れる。(側撃雷防止)



### 竜巻 (たつまき)

- 竜巻<sup>たつまき</sup>注意<sup>ちゅうい</sup>情報<sup>じょうほう</sup>が出<sup>で</sup>たら、すぐ頑丈<sup>がんじょう</sup>な建物<sup>たてもの</sup>の中<sup>なか</sup>に逃<sup>に</sup>げる。
- <屋外<sup>おくがい</sup>では>
- 頑丈<sup>がんじょう</sup>な建物<sup>たてもの</sup>の中<sup>なか</sup>に逃<sup>に</sup>げる。
- 物置<sup>ものおき</sup>・車庫<sup>しゃこ</sup>・プレハブ<sup>はい</sup>には入<sup>はい</sup>らない。
- 飛<sup>と</sup>んでくるもの<sup>ちゅうい</sup>に注意<sup>ちゅうい</sup>する。
- <屋内<sup>おくない</sup>では>
- 雨戸<sup>あまど</sup>、シャッター<sup>まど</sup>、窓<sup>し</sup>、カーテン<sup>まど</sup>を閉<sup>はな</sup>めて窓<sup>はな</sup>から離<sup>はな</sup>れる。
- 頑丈<sup>がんじょう</sup>な机<sup>つくえ</sup>の下<sup>した</sup>へ入<sup>はい</sup>って頭<sup>あたま</sup>を守<sup>まも</sup>る。
- 窓<sup>まど</sup>や開口部<sup>かいこうぶ</sup>の少<sup>すく</sup>ない部屋<sup>へや</sup>に移動<sup>いどう</sup>する。



## 大雨（おおあめ）

- ・豪雨時は川や土砂崩れの危険がある所から離れる。
- ・大雨が降る予報があったら、警報に注意する。
- ・住んでいる場所が浸水や土砂災害の危険があるのか確かめる。
- ・外に出る場合は、水につかったとき脱げにくい運動靴をはく。
- ・夜は危険な箇所が分かりにくいので明るいうちに逃げる。
- ・大雨や集中豪雨でがけ崩れ、土石流、地滑りが起きることがあるので、前ぶれを覚えておいて危なかったら逃げる。

### <崖崩れや土石流、地滑りの前ぶれ>

- ・高さ4m以上の崖で、小石や土がパラパラ落ちてくる。
- ・雨が止んでも、水が吹き出している。
- ・湧き水や溪流、水路の水が急に増える、濁る。
- ・山鳴りや木の裂ける音が聞こえる。
- ・泥臭い変な臭いがする。
- ・山腹や地面にひび割れ、段差ができる。



## 火事（かじ）

- ・揺れがおさまってから、消火活動をする。
- ・「火事だ！」と大声を出して、周りに知らせる。モノをガンガン叩いたり、非常ベルがあったら押す。
- ・天井に火がまわったら、すぐに逃げる。
- ・震度5以上の地震発生時には、都市ガスの供給は自動的に止まります。地震発生後、慌ててガス止めなくても大丈夫。
- ・停電復旧後、通電火災が起きることもあるのでブレーカーを落としておく。
- ・火事の煙は上にいくので、タオルやハンカチで鼻と口を覆って吸い込まないようにして、低い姿勢で逃げる。

# Q-9 : 無事に帰るためには？

## A-9 : 安全帰宅の8か条を覚えておこう

- その1 余震や広域火災の発生もあるので、むやみに移動を始めない
- その2 落ち着いて安否確認（災害用伝言板を使う）
- その3 帰宅の判断（20kmを超えたら帰宅は困難）
- その4 帰れないときは、帰宅困難者一時滞在施設を利用する
- その5 暗くなったら移動しない
- その6 災害時帰宅支援ステーションを利用する
- その7 声をかけあい、助けあう
- その8 危ない場所に注意する→倒壊家屋、壁ぎわ、塀ぎわ、ガラス、落下物、がけ崩れ、津波、火災（風向き注意）など

### <帰宅困難者の支援施設>

災害時に水道水、トイレ、情報、休憩の場として提供している。  
ステッカーや看板が目印です。

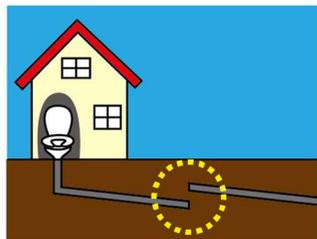
<p>帰宅困難者一時滞在施設</p>	<p>帰宅が可能になるまで、一時的に受けいれてくれる 行政の指定、協定を結んだ施設 （集会場、庁舎、ホテル、学校、ビルのエントランス）</p>
<p>災害時帰宅支援ステーション</p> 	<p>徒歩で帰宅する人を助ける施設 主に沿道にある店舗が協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストア</li> <li>・ファーストフード</li> <li>・ファミリーレストラン</li> <li>・ガソリンスタンド</li> <li>・学校、公的機関</li> </ul>

# Q-10 : トイレが使えないとき、どうする？

A-10 : 非常用(携帯)トイレを準備しておこう

〈水洗トイレが使えないわけ〉

- ・ 水が止まると流せない
- ・ 停電するとポンプが動かない
- ・ 配水管や下水道管や浄化槽が壊れる



大地震があった後、確認しないままトイレを使うと大変な事に！

まずは非常用（携帯）トイレを使うのが原則！

家に用意しておく非常用（携帯）トイレの数を計算しておこう。

$$\begin{array}{l}
 \text{ひとりいちにち} \quad \boxed{\phantom{00}} \text{ 回} \times \text{家族の人数} \quad \boxed{\phantom{00}} \text{ 人} \times \boxed{\phantom{00}} \text{ 日分} \\
 \\
 = \boxed{\phantom{00}} \text{ 個}
 \end{array}$$

非常用（携帯）トイレがなくなったら、ごみ袋 + 新聞紙 or おむつ or ペット用トイレ砂でも作ることができる。

トイレトペーパーも普段から余裕を持って買っておく。

水が止まっても手をきれいにできるウェットティッシュも用意する。

マンホールトイレが使えるところもあるので、町内会や公共施設に備えているか確認しておく。

かぞく はな  
**家族で話してみよう！**

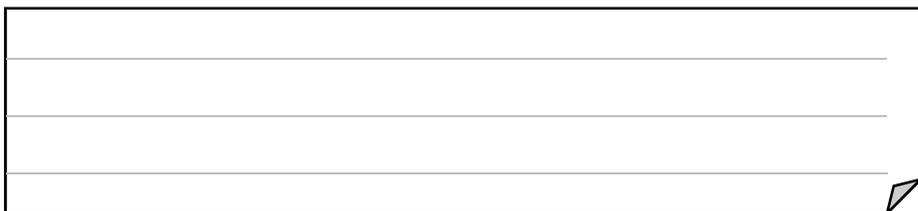
お ほうほう かんが  
○落ち着く方法を考えておこう



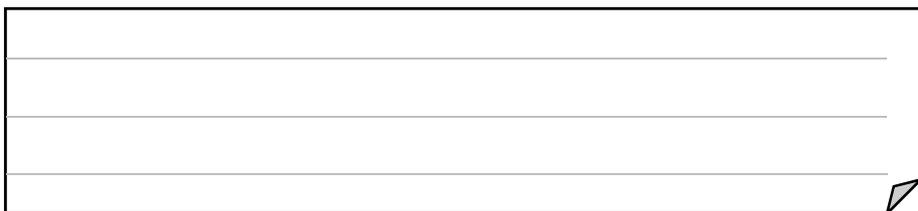
たよ ひと  
○頼りにしている人は？



げんき た  
○元気が出る食べ物は？



も に たからもの  
○これだけは持って逃げる宝物は？



# 停電の 乗るためには？

生活に必要なもので電気を<sup>でんき</sup>使うものの<sup>つか</sup>代わりを<sup>か</sup>考えておく。  
懐中電灯<sup>かいちゆうでんとう</sup>は各部屋<sup>かくへや</sup>にあると役に立つ<sup>やくた</sup>。

あかり	
しよくじ あたた 食事を温める	
トイレ	
じょうほう 情報	

## <ヒント>

手回しラジオ、ランタン、ヘッドライト、太陽光発電<sup>たいようこうはつでん</sup>、電気自動車<sup>でんきじどうしゃ</sup>  
カセットコンロ、カイロ、簡易トイレ<sup>かんい</sup>、充電機<sup>じゅうでんき</sup>、電池<sup>でんち</sup>

## <その他>

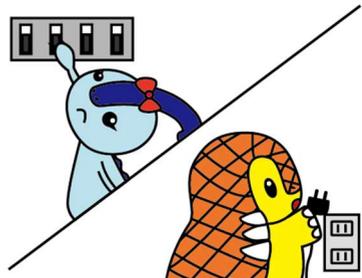
- ・お皿<sup>さら</sup>の代わり→新聞紙<sup>しんぶんし</sup>+サランラップ、ビニール袋<sup>ぶくろ</sup>
- ・コンロの代わり→牛乳パック+空缶<sup>あきかん</sup>
- ・電灯<sup>でんとう</sup>の代わり→懐中電灯<sup>かいちゆうでんとう</sup>+ペットボトル

## <通電火災>

- ・停電から復旧したとき、電気ヒーターやアイロン、ドライヤーのスイッチが入りっぱなしだと火災<sup>かさい</sup>がおきることがあります。

※停電時<sup>ていでんじ</sup>にしておくこと

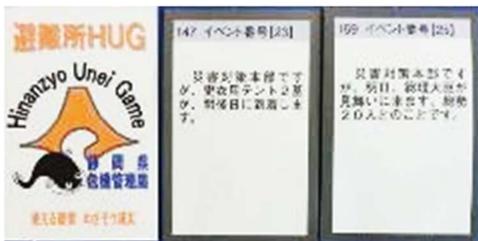
- ・ブレーカーを落とす
- ・コンセントを抜いて火事を防ぐ



# ぼうさい 防災ゲームをしてみよう

## ハグ ひなんじょうらんえい HUG（避難所運営ゲーム）

ひなんじょうらんえい もぎたいけん  
避難所の運営をする模擬体験  
ゲームです。避難所での生活を  
具体的にイメージしたり、何が  
できるかを考えます。



## クロスロード



さんかしゃ だ もんだい  
参加者は、出された問題について YES か  
NO のカードを出します。どうしてそのカー  
ドを出したのかを話して、災害対策を決  
めるために必要な情報や条件を理解しま  
す。

## ディグ DIG

おお ちず かこ か  
大きな地図を囲んで、みんなで書きこみ  
を加えながら、ワイワイと楽しく話しあ  
つて、防災対策を考えます。

しょきゅうへん ちゅうきゅうへん おうようへん わ  
初級編、中級編、応用編に分かれてい  
て、より具体的に自分達の住む町の防災の  
ことを知ることができます。



ぼうさいたいけん しせつ しゅとけん  
**防災体験ができる施設（首都圏）**

さいたまけん  
**【埼玉県】**

さいたまけんぼうさいがくしゅう  
**埼玉県防災学習センター「そな一え」**  
 さいたま市し防災センターぼうさいてんじ  
**さいたま市防災センター防災展示ホール**  
 かすかべしぼうさいセンターてんじ  
**春日部市防災センター展示ホール**  
 いるまとうぶちくしょうぼうくみあいぼうさいかん  
**入間東部地区消防組合防災館**  
 さやましょうぼうしよぼうさいたいけん  
**狭山消防署防災体験コーナー**  
 しゅとけんがいかくほうすいろ さいりゅう かわちていたんけん りゅうキューかん  
**首都圏外郭放水路 彩龍の川地底探検ミュージアム 龍Q館**

ちばけん  
**【千葉県】**

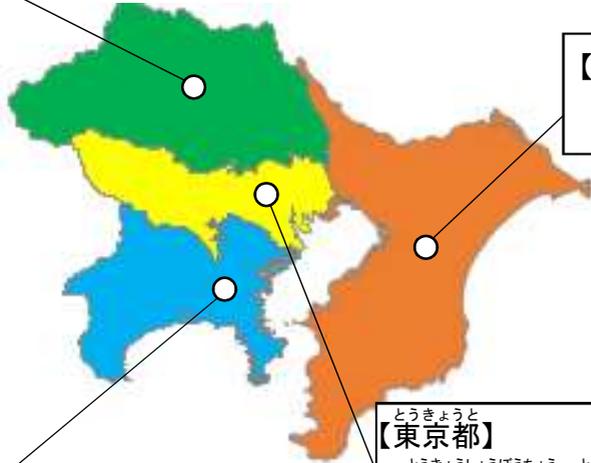
ちばけんせいぶぼうさい  
**千葉県西部防災センター**

とうきょうと  
**【東京都】**

とうきょうしよぼうちゆう とみん ぼうさいきょういく  
**東京消防庁 都民防災教育センター**  
 いけぶくろぼうさいかん  
**池袋防災館**  
 ほんじよぼうさいかん  
**本所防災館**  
 たちかわぼうさいかん  
**立川防災館**  
 しょうぼうはくぶつかん  
**消防博物館**  
 とうきょう どうきょうりんかいこういきぼうさいこうえん  
**そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）**  
 ぼうさいたいけんかん  
**しながわ防災体験館**  
 とうきょうときたくぼうさい じしん ががくかん  
**東京都北区防災センター（地震の科学館）**  
 きしやうちゆう きしやうかがくかん  
**気象庁 気象科学館**

かながわけん  
**【神奈川県】**

よこはましみんぼうさい  
**横浜市民防災センター**  
 かながわけんそうごうぼうさい  
**神奈川県総合防災センター**



# ぎじゅつし 技術士ってなんだろう？

パンフレットがあるので見てね！

技術士って？

けんさく  
検索

## ぎじゅつし 技 術 士 っ て ？

～これが技術士の世界～

「技術士」という仕事がありますが、みなさんは知っていましたか？

私たちの社会は、さまざまな科学技術によって支えられることにより便利で快適な生活が送れるようになっています。「技術士」は、科学や技術の能力を持ち、その能力を活かして社会のために働く「技術者」のな

かで、国の試験を受けて合格した人だけが使うことができる名称です。みなさんの毎日の生活のなかで、「技術士」に出会うことはあまりないでしょう。しかし身近なところで技術士の世界にふれていると思います。そんな技術士の世界を、技術士の山田さんに代表して説明してもらいましょう。

ぼく健太、6年生。今日は、お父さんの友達の山田さんに会いに来たんだ。山田さんは「技術士」なんだって。どんなお仕事をしているのかな？いろいろ聞いてみよう。

健太くん



千晶ちゃん



私は千晶、5年生なの。「技術士」は国家資格ですごく難しい試験に合格した人だけがなれるって、お父さんから聞いたわ。

ハハハ、健太くん、千晶ちゃん、いらっしやい。よく来てくれたね。今日は、「技術士」の仕事について、君たちにいろいろ教えてあげよう。



技術士の山田さん

発行 公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
Tel: 03-3459-1331(代表) Fax: 03-3459-1338  
E-mail: bousai@engineer.or.jp